

法藏館書店ニュース 12月

目 次

話題の本	P1
法藏館新刊案内	P2~3
法藏館重版案内	P3
法藏館刊行予定案内	P4
法藏館書店新着案内	P4~13
特集1:法藏館2023年刊行一覧 2023各受賞書籍のご紹介	P14~16
特集2:ブッダの歴史を読む	P17
特集3:宮沢賢治と仏教	P18
お知らせ	P19
法藏館書店ベスト10・メール配信サービスご案内	P20

★お知らせ★ 12、1月の書店休業日

12月のお休み: 3日・10日・17日・24日 年末年始のお休み:
30日(土)~1/4日(木)まで。
1月のお休み: 7日・14日・21日・28日

話題の本

●AERA (2023/11/13) ●中外日報 (2023/10/27)

『近代日本の思想変動と 浄土真宗—教化・連帯・転向』

佐々木政文著・A5判・418頁・7,150円
ISBN: 978-4-8318-5579-4

●山陰中央新報 (2023/11/3)

『古代インドのアングリマーラ伝承

—歎異抄十三条・漢訳經典・仏伝図像から読み解く』
白須淨眞編・A5判・480頁・14,300円
ISBN: 978-4-8318-7760-4

●佛教史学研究 65巻 (2023/10/31)

『中世真宗の儀礼と空間』

山田雅教著・A5判・380頁・6,820円
ISBN: 978-4-8318-7924-0

『近代仏教教団と戦争

一日清・日露戦争期を中心に』
小林惇道著・A5判・492頁・7,150円
ISBN: 978-4-8318-5568-8

●キリスト新聞「kiriShin」(2023/10/28)

『平田篤胤 狂信から共振へ』

山下久夫・斎藤英喜編・A5判・360頁・6,600円
ISBN: 978-4-8318-6276-1

●佛教タイムス (2023/10/19)

『近世思想と仏教』

末木文美士著・A5判・416頁・4,950円
ISBN: 978-48-318-6279-2

●説話文学研究 58号 (2023/9/30)

第28回 日本比較文学会 受賞

【日文研叢書60】

『世界文学としての方丈記』

プラダン・ゴウランガ・チャラン著
四六判・360頁・3,850円
ISBN: 978-4-8318-7756-7

●日本思想史学 第55号 (2023/9/30)

中村元東方学術奨励賞 受賞

日本宗教学会賞 受賞

【日本佛教史研究叢書】

『釈雲照と戒律の近代』

龜山光明著・四六判・322頁・3,850円
ISBN: 978-4-8318-6045-3

『近代日本の国家と浄土真宗

—戦争・ナショナリズム・ジェンダー』

福島栄寿著・A5判・294頁・4,180円
ISBN: 978-4-8318-5569-5

2刷

◆宗教を問う、宗教は問う

——コルモスの歴史と現代

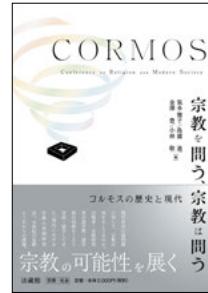
氣多雅子・島薦 進・金澤 豊・小林 敬編・四六判・384頁・2,200円
ISBN:978-4-8318-7774-1

現代社会の諸問題に対して、宗教は何をなしうるのか。宗教・宗派をこえて対話し、宗教の可能性を展く。コルモスの半世紀の足跡。

■目次

- 序章 コルモスのこれまでを振り返る(島薦 進)
第1部 コルモス50年の歩み
第2部 コルモスの回顧と展望
終章 これからの課題
——コルモスの目的を問い合わせ直す(氣多雅子) ほか

ためし読み



◆新・願生寺正鑑——先達の願いに生きん

【仏教／真宗】

願生寺編・A5判・548頁・3,960円・ISBN:978-4-8318-7934-9

教義解釈を巡り住職追放・取り潰しまでに到った「願生寺安心事件」。住職・門徒たちの、いのちをかけた信仰が現代に問いかける。

■目次

- 刊行の辞……………真宗大谷派新潟教務所長、
新井・高田・三条別院輪番 藤懿信磨
水滴石を穿つ……………往生人舎主宰 今泉温資
第一部 願生寺の歴史 I——郷土史——
願生寺と蒲原の寺々と門徒衆……………廣澤憲隆
第二部 願生寺の歴史 II——安心事件——
願生寺安心事件の全容……………古谷清磨 ほか

ためし読み



法藏館重版案内

◆日蓮宗小事典 新装版

小松邦彰・冠 賢一編・四六判・273頁・1,980円
ISBN:978-4-8318-7068-1

日蓮が開いた日蓮宗の思想・歴史・仏事の基本用語を一般向けにやさしく解説したハンディな小事典。
巻末に五十音順の事項索引を付す。

■目次

- | | | |
|--------|---------|-----------|
| はじめに | 便覧編 | 勤行經典 |
| 日蓮宗の教え | 日蓮宗の基本 | 御妙判 |
| 日蓮宗の歴史 | 仏壇とおつとめ | 日蓮の足跡と諸寺 |
| 日蓮宗小事典 | 法衣・仏具・墓 | 日蓮宗の伽藍 ほか |

7刷

【日蓮宗】



法藏館刊行予定案内

〈2024年1月 刊行予定〉

◆民俗の日本史 法藏館文庫

【民俗／日本史】

高取正男著、谷川健一・林 淳解説・文庫判・368頁・1,540円・ISBN:978-4-8318-2658-9

文明化による恩恵だけでなく、それによって生じた土着側の危機をも捉えることで、文化史学の抜本的な見直しを志した野心的論考を収録。

◆中世の都市と非人

——武家の都鎌倉・寺社の都奈良 法藏館文庫

【日本史】

松尾剛次著・文庫判・331頁・1,320円・ISBN:978-4-8318-2659-6

非人はなぜ都市に集まったのか。彼らを救済した仏教教団とは。中世都市民の代表・非人と都市鎌倉・奈良を素材に、中世を読み解く。

◆維新时期天皇祭祀の研究 法藏館文庫

【日本史／神道史】

武田秀章著・文庫判・462頁・1,760円・ISBN:978-4-8318-2660-2

幕末維新时期における天皇親祭祭祀の展開過程を、文久山陵修補事業着手に端を発する山陵・皇靈祭祀の形成と展開に着目しつつ検討する。

◆密教図像 第42号

【仏教／美術】

密教図像学会編・B5判・予98頁・3,080円・ISBN:978-4-8318-0442-5

美術史と密教学を連携させた密教図像学の立場からアジアの宗教美術を考察。密教美術をテーマとした論文集。執筆者は宇代貴文・杉本瑞帆・木村美保・徳重弘志・戴鶯。

法藏館書店新着案内

◆中国佛教哲学要義

方立天著・A5判・1,180頁・33,000円〈大蔵出版〉

佛教哲学要義と銘打ちながらも、儒教、道教にも広く目配りをした叙述をしている点が特徴であり、中国佛教哲学がどのように形成されたか、どのように歴史的な変遷を経過したか、どのような体系性を具えているかなどに論及している。

■目次

- 第一章 中国の佛教哲学の形成
- 第二章 中国の佛教哲学の歴史的変遷
- 第三章 中国の佛教哲学の思惟体系
- 第四章 中国佛教の因果応報論 ほか



◆安田理深 唯識論講義【新装版】

上・下

本多弘之編・A5判・上:369頁、下:378頁・7,700円(春秋社)

親鸞思想に傾倒した佛教哲学者安田理深の講義を整理しまとめた講義録。西洋哲学史を踏まえた上で、親鸞の思想を絡めながら、唯識思想を解説。上では全6回の講義のうち1回から3回を収録。親鸞教学と唯識のつながりや唯識に関する周辺情報を論じる。下では4回から6回を収録。本格的に『唯識三十頌』の本文を読み進めていく。

■目次[上]

- まえがき
- 唯識論(一)
- 唯識論(二)
- 唯識論(三)

■目次[下]

- まえがき
- 唯識論(四)
- 唯識論(五)
- 唯識論(六)

引用文
あとがき



◆修行者達の唯識思想

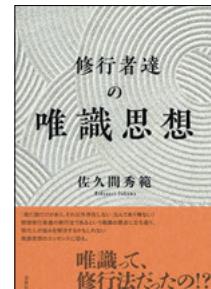
佐久間秀範著・四六判・365頁・4,070円(春秋社)

観念論や独我論として理解されがちな唯識は、思想というより悩み苦しみから解放されるための修行法である!

原点にかえり、唯識思想の意義を現代的に説くとともに、学術的に唯識文献の内容や最新の研究に基づいた瑜伽行唯識学派諸論師の系譜を明らかにする。

■目次

- 第一章 修行者の目で見る唯識思想
- 第二章 瑜伽行唯識学派の立ち位置
- 第三章 『中辺分別論』と『大乗莊嚴經論』
- 第四章 『摂大乘論』
- 第五章 『唯識二十論』と『唯識三十頌』 ほか



◆新装版 龍樹(ナーガールジュナ)——空の論理と菩薩の道

瓜生津隆真著・四六判・376頁・3,300円(大法輪閣)

「八宗の祖」と言われるように、全ての大乗佛教で釈尊に次ぐ祖師と仰がれる龍樹(ナーガールジュナ)。その鋭い論理を駆使した「空の哲学」は、今や佛教の枠を超えて世界的に評価されている。その一方で、彼は慈悲と内省に生きた大乗佛教の求道者=菩薩だった。本書は、著者永年の研究成果を踏まえて、新たな視点からその全体像を描き出した、画期的な龍樹論です。

■目次

- 第一章 その生涯
- 第二章 著作の概要
- 第三章 空の世界
- 第四章 『中論』の思想と論理
- 第五章 菩薩の道



◆東アジアの王宮・王都と仏教

堀 裕・三上喜孝・吉田 歓編・A5判・462頁・13,200円〈勉誠社〉

六世紀から十一世紀にかけての東アジアにおける王宮と王都の比較宗教史研究を通して、東アジア世界における、それぞれの「王権」の特色を示すことで、今後の研究を牽引する画期的な一書。

■目次

- 第一部 東アジア比較史のなかの倭・日本
- 第二部 百済・新羅と東アジアの王宮仏事
- 第三部 「宗教の時代」のおわりと東部ユーラシアの王宮仏事



【講談社選書メチエ791】

◆仏教の歴史——いかにして世界宗教となったか

ジャン=ノエル・ロベル著、今枝由郎訳・四六判・192頁・1,650円〈講談社〉

インドに生まれた仏教は、聖典の他言語への翻訳を積極的に推進。東南アジアやヨーロッパでは全く別の姿を見せながら、各地の言語と文化を大きく変容させてきた。その多様な全体像と歴史を、大きな視野から描き出す。

■目次

- 第一章 諸宗教の中での仏教
- 第二章 ブッダ 〈仏—第一の宝〉
- 第三章 ダルマ 〈法—第二の宝〉
- 第四章 サンガ 〈僧—第三の宝〉
- 第五章 三つの叢書 〈三蔵〉 ほか



【角川ソフィア文庫】

◆日本人の仏教史

五来 重著・文庫判・384頁・1,584円〈KADOKAWA〉

仏教伝来、空海、日蓮といった宗祖、空也ら遊行僧、熊野信仰や修驗道などの山岳宗教、荒野聖、山伏といった無名の民間僧……。明治の廢仏毀釈を経て、現代へと至る日本仏教の長大な歴史に、仏教民俗学の泰斗が新たな光を当てる。

■目次

- 1 神と仏
- 2 聖徳太子と夢殿
- 奈良の聖たち
- 山岳仏教と密教
- 慈覚大師と山の念仏
- 理源大師と大峯修験道
- 空也と茶筅
- 橋の勧進
- 物語と巡礼
- 熊野信仰と阿弥陀如来
- 勧進聖、西行と重源 ほか



◆本願寺と鉄道の近代史

中西直樹著・A5判・314頁・5,280円〈三人社〉

日本近代の鉄道発達に本願寺が果たした役割の大きさ、鉄道布教に集約的にあらわれた近代真宗の社会的実践・教化事業に関して、その実態を明らかにする。

■目次

- 第一章 近代鉄道敷設事業と本願寺
- 第二章 日清戦争後の本願寺派に見る起業熱と財界連携
- 第三章 本願寺派鉄道布教と団体参詣の創始
- 第四章 郵便布教と警察布教の展開
- 第五章 鉄道道友会の創設と展開 ほか



【平凡社ライブラリー955】

◆[増補]破戒と男色の仏教史

松尾剛次著・A6変判・223頁・1,760円〈平凡社〉

厳しい戒律にもかかわらず、日本仏教界にできあがっていた「男色」文化。荒れはてた仏教界に、やがて「戒律復興」の声とともに新たな仏教を生みだす人々が現われる——。戒と僧侶の身体論から見た、苦悩と変革の日本仏教史。

■目次

- 第1章 持戒をめざした古代(なぜ戒律が必要となったのか
待たれていた鑑真と国立戒壇延暦寺戒壇の成立)
- 第2章 破戒と男色の中世(守れなかった戒—宗性の場合
僧侶の間に広がった男色)
- 第3章 破戒と持戒のはざまで(中世日本に興った“宗教改革”女性と
成仏戒律の復興を人々に広める延暦寺系の戒律復興と親鸞)
- 第4章 近世以後の戒律復興



◆菩薩は女性を愛せるか

大竹晋著・四六判・281頁・3,080円〈春秋社〉

独特的の立ち位置から徹底的な文献学的手法に基づいた仏教書を執筆してきた大竹晋が次に手がけるのは、「菩薩と恋愛」! 欲の制御を保ちながら、同時に女性の救済を行うことは可能であると説かれているのか? 在家の場合と出家の場合に分けながら、解説する。

■目次

- 序 章 仏教において菩薩とは何か
- 第一章 仏教は恋愛を容認できるか
- 第二章 菩薩は女性と結婚できるか
- 第三章 菩薩は諸欲を享受できるか ほか



◆亡き方を偲ぶ——報恩のこころ

林 憲淳著・新書判・16頁・110円〈東本願寺出版〉

私たちはなぜご法事を勤めるのか、亡き方は、私に何を願っているのか――。

死者は三途の川を渡って閻魔さまに会い、この世の行いに応じた裁きを受ける……。そんな死者を「亡者」にする死生観を破り、捉え直した親鸞聖人の仏教をとおして、亡き方の本当の願いに報い、自らの人生を見つめ直す「報恩のこころ」を基礎としたご法事のあり方を尋ねる。



【朝日選書1037】

◆死生観を問う——万葉集から金子みすゞへ

島薦 進著・四六判・335頁・1,870円〈朝日新聞出版社〉

古代から現代に至るまでの生活文化と日本の文芸のなかから、「魂のふるさと」「無常」「桜」「うき世」などのモチーフに注目して、死生観の表現を拾い上げ、現代人の死生観を問い合わせ手がかりにする。

■目次

- 第1章 魂のふるさとと原初の孤独(死者が近くにいるという感覚
先史時代に遡る「魂のふるさと」 ほか)
- 第2章 無常を嘆き、受け入れる(弱さを嘆き、いのちのはかなさを知る
無常—野口雨情の童謡と一茶の『おらが春』 ほか)
- 第3章 悲嘆の文学の系譜(永遠のいのちの約束とそれ以前・以後
王朝文芸の「はかなし」と死生観 ほか)
- 第4章 無常から浮き世へ(散る桜が表す無常感の形成期
散る桜の歴史、神話から無常へ ほか)



◆死にゆく人と共にあること

——マインドフルネスによる終末期ケア【新装版】

ジョアン・ハリファックス著、井上ウィマラ監訳、中川吉晴・浦崎雅代・
白居弘佳・小木曾由佳訳・四六判・334頁・3,080円〈春秋社〉

米国発のターミナルケアの試みとして、世界中でいま注目を集めている終末期ケア専門家を訓練するBWD(Being with Dying)プログラムを本邦初紹介。誰もが幸福になる看取りへ。

■目次

- 第1部 地図にない土地
- 第2部 施無畏
- 第3部 一枚の布全体を織りあげる



◆修験道の経・講式・和讃・唱言

宮家 準著・四六判・290頁・3,850円(春秋社)

修験道では何を唱えているのか。依經とする大乗佛教の經から、修験道独自の經と勤行集、さらに峰中修行の經と祈願の唱言、神仏を讃える講式と和讃、採(柴)灯護摩の時の問答について網羅し、解説と現代語訳などを付して、その思想の理解を助ける画期的書。

■目次

- 第一章 修験道で依經とする大乗佛教の經
- 第二章 修験道独自の經
- 第三章 修験教団の勤行集
- 第四章 峰中修行の經と唱言
- 第五章 講式と和讃
- 第六章 採(柴)灯護摩供の際の問答・前作法・經



◆すべての宗派のお経が読める 必携 お経読本

九仏庵方丈著・監修・四六判・187頁・1,540円(彩図社)

お経とは、仏教の教えを説いた經典です。一見難しそうに見えるかもしれません、読み解くことができればとてもありがたい言葉に触れることができるのです。本書では各宗派のお経を優しく解説。お経の成り立ちから読み方、そして現代語訳まで掲載。一読すれば全ての宗派のお経が読めるようになります。

■目次

- 第一章 浄土宗系、浄土真宗系
- 第二章 天台宗系、日蓮宗系
- 第三章 真言宗系、天台密教系
- 第四章 臨済宗系、曹洞宗系、黄檗宗系



◆葬送のお仕事

井上理津子著・A5判・238頁・1,980円(解放出版社)

「お通夜と告別式はなにがちがう?」「ご遺体はなぜキレイな顔なの?」「家族葬ってどういうお葬式?」……。葬送に関する38の疑問がスッキリわかる! 大切な人の「死」と「お見送り」を学ぶ一冊。小学4年生以上。

■目次

- 第1部 「死ぬ」とは、だれかにケアされること
- 第2部 「葬送のお仕事」のリアルを見てみよう
- 第3部 「葬送のお仕事」のプロに聞いてみよう
- 第4部 「葬送と社会」のこれまで・これから



◆臨床と宗教——死に臨む患者へのスピリチュアルケア

孫 大輔編著・A5判・203頁・2,750円〈南山堂〉

患者や家族から発せられる生老病死の苦しみの訴えに、医療者はどのように応えればよいのか。プライマリ・ケア医と5名の専門家との対談から、日本人の宗教観や死生学の知識、スピリチュアルケアに挑むための心構えを紐解く。

■目次

医療者が考えるべき日本人の宗教観——孫 大輔×井口真紀子
医療からこぼれ落ちるもの——孫 大輔×森田敬史

無限の闇を前にして——孫 大輔×深谷美枝

スピリチュアリティを辿る——孫 大輔×島薗 進 ほか



【中公選書142】

◆ホモ・サピエンスの宗教史

——宗教は人類になにをもたらしたのか

竹沢尚一郎著・四六判・441頁・2,860円〈中央公論新社〉

宗教はどのようにして誕生し、人間の歴史の中でどのように変化してきたのか。宗教を生み出した共同性の経験から宗教改革まで、宗教の変化を追うことで、人間の歴史をたどりなおした壮大な書。

■目次

序章 宗教は謎だらけだ

第1章 宗教の起源——宗教はいつはじめたか

第2章 アニミズムの世界——狩猟採集民の宗教

第3章 儀礼の体系の成立——農耕民と牧畜民の宗教

第4章 多神教の確立——国家と古代文明の宗教 ほか



◆差別する人の研究

——変容する部落差別と現代のレイシズム

阿久澤麻理子著・四六判・223頁・1,870円〈旬報社〉

差別は「される側」ではなく「する側」の問題。部落差別をつくりかえ、再生産するのは誰なのか。現代社会の部落差別の変容の姿と、それがなぜ・どのように起こるのかを示し、変わりゆく差別の姿をあきらかにする。

■目次

1 差別とは何か?

2 社会構築主義はマイナリティを無化するものか?

3 レイシズム研究に手がかりをもとめて

4 社会システムに埋め込まれた差別

5 部落出身者判定の手がかりにされる部落の所在地情報(地名等) ほか



◆東京ブギウギと鈴木大拙

山田獎治著・四六判・249頁・2,530円〈人文書院〉

大拙の息子にして「東京ブギウギ」の作詞者・鈴木アラン勝。その知られざる人生を初めて描く傑作ノンフィクション。

■目次

- 第1章 出生の秘密
- 第2章 不良少年
- 第3章 秀才の片りん
- 第4章 東京ブギウギ
- 第5章 大拙とビート世代
- 第6章 不肖の息子



(2022年3月刊行)

◆10人のお坊さんにきいてみた

講談社編、NHKエデュケーション協力・四六判・160頁・1,760円〈講談社〉

心をス——ッとほぐしてみませんか?

10人のお坊さんがあなたのモヤモヤをスッキリ解決!

5つのモヤモヤ

イライラ、承認欲求、生きる意味、忘れられない過去、見た目
NHK番組『10人のお坊さん』を書籍化!

悩み、モヤモヤ、イライラ、苦しみ。それでも生きていかなければならぬのが人生。

<もう、イヤだっ!>

そんなときには、ちょっと一息。

お坊さんのお話(説法)に耳をかたむけてみませんか?

《仏教》は人間の悩みや苦しみに向き合い続けて2500年。

お坊さんの(説法)には、生きる知恵がたくさんつまっています。



◆仏教は現代人への救いとどう向き合うのか ——仏教・密教思想からの見識

静 慈圓著・四六判・239頁・2,750円〈セルバ出版〉

仏教学の立場から「現代における人間への救い」を見出していく。僧侶はいかなる形で、現代社会との関係を求めればよいのだろうか。私たちの安全につながるヒントを仏教思想で探し求めるものである。

■目次

- 第1章 父の思い出 —— 番身近な死を書き残す
- 第2章 死とは何か — 現代の死「脳死」「安楽死」「尊厳死」を考える
- 第3章 生とは何か — 「生」における「楽しみ」の源とは
- 第4章 救いの対象となる「意識」 — 心の深さを分析する
- 第5章 仏教経典の中に救いを見出す ほか



【小学館文庫】

◆京博——深掘りさんば

グレゴリ青山著・文庫判・224頁・671円〈小学館〉

京博を100倍楽しめるマンガエッセイ！

京都に生まれ育った著者が、京都国立博物館（略して京博）を丸ごと深掘りする、という斬新な一冊。

■目次

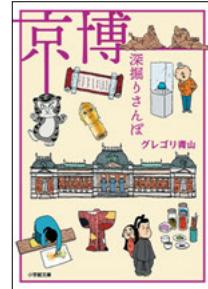
京都国立博物館へのアクセス

京都国立博物館構内マップ

第1章 深掘り！京博ってどんなところ？敷地と建物

第2章 深掘り！京博で働く人々

第3章 深掘り！文化財を守る人々



◆物語る仏教絵画——童子・死・聖地

山本陽子著・A5判・595頁・11,000円〈勉誠社〉

なぜ特異な仏画が作られたのか。「童子・死・聖地」にまつわる仏画や垂迹画を丹念に読み解き、図像的特徴や成立背景、制作意図を解明。さらに、これらの絵画が制作された時点における伝承や説話からの影響、受容の様相も探る。美術史学・説話文学・民俗学研究など隣接諸学に寄与する研究成果。

■目次

第一部 仏画と垂迹画における童子像—神の家の小公達

第二部 死をめぐる図像

第三部 中国の靈山信仰から日本へ・觀音と靈地信仰



◆決定版 仏画の見方——名画でみがく鑑賞力

大原嘉豊著・A4判・112頁・3,850円〈淡交社〉

日本美術の精華とされる「仏画」。近代の大コレクターたちが所有した、平安時代中・後期につくられた「藤原仏画」を中心に、名品とされる仏画の「名画である理由」をわかりやすく解説。仏画鑑賞の知恵を伝える。

■目次

第1章 仏教の歴史

第2章 「図像(かたち)」で見る仏画

第3章 「様式(スタイル)」で見る仏画

第4章 仏画の技法

第5章 近代の大コレクターから学ぶ仏画の鑑賞



◆いけばなの思想

—空海にはじまる千二百年の歴史

中山真知子著・四六判・248頁・3,520円〈春秋社〉

いけばなの起源に迫り、空海の思想と日本の山岳信仰がどのように結びついていけばなが誕生したのかを探る。今まで謎に包まれていた、いけばなの出発点である「たて花」の成立過程を、花伝書や仏教思想を読み解きながら明らかにする。

■目次

第I部 いけばなと真言密教

第一章 空海の密教曼荼羅と花マンダラ

第二章 覚鑑の思想から生み出された「いけばな」

第II部 いけばなと修験道 ほか



◆新 わかりやすい 仏教保育総論

公益社団法人 日本佛教保育協会編・B5判・141頁・1,980円
〈チャイルド本社〉

佛教保育の基本的な考え方から実践まで、どんな方にもやすく理解していただける本です。

佛教保育の理念、佛教保育の目指すもの、佛教保育の行事・教材、発達援助のあり方、持続可能な社会づくりに向けた人材の育成としてのESD、保育者のこころがまえなどを解説する。



法藏館書店 新着雑誌案内

◆同朋 12月号

〈東本願寺出版〉

真宗大谷派宗務所出版部編・A4判・56頁・400円

生活に密着した話題から親鸞聖人の教えまで、日々の暮らしのなかにある大切なことを見つめる月刊誌。

■目次

◎インタビュー 萩尾望都さん(漫画家)
ひとりの「反逆者」という気分で描いていました。

◎特集 フェミニズム

—女性差別のない社会を目指して

[対談] 飯野由里子×谷口愛沙

共に苦しみ見つめ合い、

差別に抵抗するフェミニズム

ほか

◆大乗 12月号

〈本願寺出版社〉

大乗刊行会編・B5判・88頁・375円

門信徒の家族が楽しく浄土真宗に親しむための月刊誌。お念佛のよろこびをご家族のみなさまにお届けします。

■目次

・釈迦宗の隨縁探訪……ゲスト:梅高賢正さん

・DAIO法話 「問い合わせ」……米田順昭

・ご機言! お寺の掲示板……江田智昭

・報恩講アーカイブス

「生かされる世界—親鸞聖人の特色—」

稻城選恵 ほか

特集1 法藏館2023年新刊一覧

刊行月	書名	著者名	価格(税込)	注文数
1月	文物に現れた北朝隋唐の仏教 法藏館文庫	礪波 譲	1,320円	
	近代日本の国家と浄土真宗 —戦争・ナショナリズム・ジェンダー	福島栄寿	4,180円	
	近代日本の仏教と福祉—公共性と社会倫理の視点から	井川裕覚	5,500円	
	プラフマニズムとヒンドゥイズム 1 —古代・中世インドの社会と思想	藤井正人・手嶋英貴編	5,500円	
	プラフマニズムとヒンドゥイズム 2 —古代・中世インドの宗教と実践	藤井正人・手嶋英貴編	5,500円	
	密教図像 第41号	密教図像学会編	3,080円	
2月	法力とは何か—「今空海」という衝撃	老松克博	2,640円	
	【シリーズ宗教と差別(全4巻)】 第3巻差別の地域史—渡辺村からみた日本社会	磯前順一・吉村智博・浅居明彦監修 小倉慈司・西宮秀紀・吉田一彌編	3,080円	
	読書漫筆	吉川忠夫	3,300円	
	哀話の系譜—うとうやすかた	菊地草太	1,980円	
	相国寺史 第二巻—史料編中世二	相国寺史編纂委員会編 原田正俊・伊藤真昭監修	9,900円	
	POD版 仲野良俊著作集 第7巻 正信念仏偈講義 I / 第8巻 正信念仏偈講義 II / 第9巻 正信念仏偈講義 III	仲野良俊 [分売可]	各8,250円	
	新装版 観経疏に学ぶ 序分義1・序分義2	廣瀬 晴 [分売可]	各3,080円	
	志いまだ老いず	川口高風	1,650円	
	3月			
3月	神々の精神史 法藏館文庫	小松和彦著・伊藤慎吾解説	1,540円	
	江戸のはやり神 法藏館文庫	宮田 登著・小松和彦解説	1,320円	
	中世神祇講式の文化史	星 優也	6,600円	
	平田篤胤 狂信から共振へ	山下久夫・斎藤英喜編	6,600円	
	真言密教事相概論	潮 弘憲	9,900円	
	弘法大師御誕生一千二百五十年記念 弘法大師空海のことば100—行動と教え	福田亮成	2,090円	
	八坂神社日記 万覚日記1(明和六年～安永六年)	八坂神社文書編纂委員会編	9,900円	
	東アジア仏教思想史の構築—凝然・明恵と華厳思想 [龍谷大学仏教文化研究叢書46]	野呂 靖・張 文良・金 天鶴編	4,400円	
	宗教組織の人類学 —宗教はいかに世界を想像／創造しているか	藏本龍介編	3,850円	
4月	歓異抄一心に刺さるメッセージ	田代俊孝	1,100円	
	創価学会—政治宗教の成功と陰路	櫻井義秀・猪瀬優理編	2,530円	
	生きものたちと仏教のはなし	華園真慶	1,430円	
	歴史と地域のなかの神楽	八木 透・斎藤英喜・星 優也編	3,850円	
	増補改訂 近代仏教スタディーズ —仏教からみたもうひとつの近代	大谷栄一・吉永進一 近藤俊太郎編	2,200円	
	唯識—これだけは知りたい	加藤朝胤監修 船山 徹・石垣明貴杞著	1,650円	
	瑜伽行派のヨーガ体系 —『瑜伽師地論』「声聞地」の研究	阿部貴子	13,200円	

刊行月	書名	著者名	価格(税込)	注文数
4月	『大乗莊嚴經論』第IV章の和訳と注解 —菩薩の発心【龍谷大学仏教文化研究叢書44】	若原雄昭編	3,300円	
	仏法と怪異—日本靈異記の世界	武田比呂男	3,850円	
	親鸞・初期真宗門流の研究	同朋大学仏教文化研究所編	8,800円	
5月	信仰か、マインド・コントロールか —カルト論の構図	法藏館文庫 櫻井義秀	1,210円	
	日蓮の女性観	法藏館文庫 植木雅俊	1,430円	
	中世仏教の再編と禅宗	原田正俊	9,900円	
	新装版 現代語訳 親鸞全集 1・2 1・教行信証 上／2・教行信証 下	真継伸彦訳	各2,420円	
	古代インドのアングリマーラ伝承 —歎美抄十三条・漢訳經典・仏伝図像から読み解く	白須淨眞編著	14,300円	
6月	【基礎から学ぶ浄土真宗①】 阿弥陀仏と浄土—親鸞が歩んだ道	内藤知康	2,200円	
	親鸞往生論争と教学の現況	草間法照	2,860円	
	新装版 現代語訳 親鸞全集 3—宗義・註釈	真継伸彦訳	2,420円	
	嘆仏偈〈書写用〉—真宗大谷派版	法藏館編集部編		
	讃仏偈〈書写用〉—浄土真宗本願寺派版	法藏館編集部編	各385円	
7月	寺檀の思想	法藏館文庫 大桑 齊著・松金直美解説	1,320円	
	藤原道長	法藏館文庫 山中 裕著・大津 透解説	1,320円	
	安倍晴明の一千年 —「晴明現象」を読む	法藏館文庫 田中貴子	1,320円	
	お地蔵さんと日本人	清水邦彦	1,980円	
	新装版 現代語訳 親鸞全集 4—和讃・書簡	真継伸彦訳	2,420円	
	近代日本の思想変動と浄土真宗 —教化・連帶・転向	佐々木政文	7,150円	
	パリー文『テリー・ガーター』翻訳語彙典	植木雅俊	6,050円	
8月	唯識説の深層心理ことば —『攝大乘論』に基づいて	小谷信千代	4,180円	
	新装版 現代語訳 親鸞全集 5—言行・伝記	真継伸彦訳	2,420円	
9月	親鸞聖人出家得度時の無常詠歌の謎	中路孝信	1,650円	
	江戸時代の官僚制	法藏館文庫 藤井讓治	1,210円	
	宗教民俗学	法藏館文庫 高取正男著・柴田 實・村上紀夫解説	1,540円	
	天狗と修験者—山岳信仰とその周辺	法藏館文庫 宮本袈裟雄・鈴木正崇解説	1,320円	
	住職必携—真宗大谷派儀式作法	大谷制以知	2,860円	
	合掌の道 —現代の課題に問われつつ「蓮如上人御影道中」を歩く	川島弘之	1,320円	
	近世思想と仏教	末木文美士	4,950円	

POD版

*お取り扱いはAmazon・三省堂書店オンデマンド・楽天のみ。直接各サイトにてご注文下さい。

刊行月	書名	著者名	価格(税込)	注文数
10月	心に響く3分間法話 やさしい仏教の話	桜井俊彦	1,100円	
	中国初期禅思想の形成	古勝 亮	5,500円	
	東大寺要録 三 東大寺叢書3	東大寺史研究所編	38,500円	
	続 インド・チベット曼荼羅の研究	田中公明	22,000円	
	中国仏性論 ザ・グレイトブッダ・シンポジウム論集 第20号 良弁僧正—伝承と実像の間	頼 永海著・何燕生訳 GBS実行委員会編	4,400円 2,200円	
11月	法然とその時代 [法藏館文庫]	田村圓澄著・坪井 剛解説	1,320円	
	風水講義 [法藏館文庫]	三浦國雄	1,320円	
	祭儀と注釈—中世における古代神話 [法藏館文庫]	桜井好朗著・星 優也解説	1,540円	
	ブッダの奇しき事跡 上 —梵文根本説一切有部律破僧事 全訳	平岡 聰	7,700円	
	戒のある暮らし—仏教の自分貢献マニュアル	齊藤隆信	2,200円	
	古墳と壁画の考古学—キトラ・高松塚古墳	泉 武・長谷川透	2,200円	
	ためさるる日—井上正子日記1918—1922	井上正子著・井上 迅編	3,080円	
	疾駆する馬上の龍樹—空という理と思考の理	梶木 裕	2,750円	
12月	宮沢賢治の仏教思想—信仰・理想・家族	牧野 静	3,300円	
	宗教を問う、宗教は問う—コルモスの歴史と現代	氣多雅子・島薗 進 金澤 豊・小林 敬編	2,200円	
	新・願生寺正鑑—先達の願いに生きん	願生寺編	3,960円	

2023年各受賞書籍のご紹介

■ 2023年度 山岳修験学会学会賞

『六十六部日本廻国の研究』

小嶋博巳著・A5判・537頁・13,200円・ISBN:978-4-8318-6272-3

■中村元東方學術奨励賞■日本宗教学会賞

『釈雲照と戒律の近代』 [日本佛教史研究叢書]

龜山光明著・四六判・322頁・3,850円・ISBN:978-4-8318-6045-3

■林屋辰三郎藝能史研究特別賞

『祇園祭千百五十年記念 中近世祇園社の研究』

下坂 守著・A5判・782頁・19,800円・ISBN:978-4-8318-6266-2

■第28回 日本比較文学会賞

『世界文学としての方丈記』 [日文研叢書第60集]

プラダン・ゴウランガ・チャラン著・四六判・360頁・3,850円・ISBN:978-4-8318-7756-7

■第19回 涙骨賞奨励賞(受賞論文『野崎廣義とその哲学』)

『ラジオの戦争責任』 [法藏館文庫]

坂本慎一著・文庫判・272頁・990円・ISBN:978-4-8318-2636-7

特集2 ブッダの歴史を読む

新刊「ブッダの奇しき事跡 上」の発売を記念して、
法藏館のブッダ関連本をご紹介します。

新刊

◆ブッダの奇しき事跡 上

——梵文根本説一切有部律破僧事 全訳

平岡 聰著・A5判・346頁・7,700円・ISBN:978-4-8318-2481-3

梵文「根本説一切有部律破僧事」世界初の全訳!
説一切有部が律藏中に保持した壮大かつ詳細な仏伝。多くの説話が豊かに情感を添える。



◆全訳 六度集経——仏の前世物語

六度集経研究会訳・四六判・510頁・3,850円・ISBN:978-4-8318-7745-1

仏の前世物語を集し、中国・日本の説話文学に影響を与えてきた『六度集経』の本邦初となる全訳本。各巻末には関連コラムを収載。



◆マハーパジャーパティー——最初の比丘尼

ショバ・ラニ・ダシュ著、福田 琢訳・四六判・190頁・2,420円

ISBN:978-4-8318-8178-6

偉大な息子の母はどのように生きたらよいのか?
息子ブッダに帰依したマハーパジャーパティーの真実の物語。



法藏館文庫

◆ブッダとサンガ——〈初期仏教〉の原像

三枝充恵著、丸井 浩解説・文庫判・288頁・1,210円

ISBN:978-4-8318-2620-6

一人のブッダから多くの仏が生まれたのはなぜか。サンガはどのように成立したのか。仏教の根本問題を明快な叙述で解きほぐした一書。



特集3 宮沢賢治と仏教

たくさんの名作を生み出し、今も長く愛される宮沢賢治。
仏教目線で書かれた作品から文学作品までご紹介します。

◆宮沢賢治の仏教思想 ——信仰・理想・家族

新刊

牧野 静著・四六判・250頁・3,300円・ISBN:978-4-8318-5581-7

一連の作品群から賢治の仏教思想とそのバックボーンを解明するとともに、近代の中で悩み続ける「人間・宮沢賢治」の本質を抉り出す。

(法藏館)

※詳しくは2ページ



◆宮澤賢治の深層——宗教からの照射

プラット・アブラハム・ジョージ・小松 和彦編・A5判・492頁
7,700円・ISBN:978-4-8318-7100-8

賢治作品に広がるキリスト教・浄土真宗・法華経などの多様な宗教世界。最新研究によってあらわになる、宮澤賢治の「ほんたう」の姿。

残部僅少



【NHKこころの時代】

◆宮澤賢治——久遠の宇宙に生きる

北川前肇著・A5判・171頁・1,080円

わずか37歳の若さでこの世を去ったにもかかわらず、今なお語り継がれる宮澤賢治。賢治と宗教とのかかわりを追い、宗教的世界観から賢治作品を味読する。

(NHK出版)



◆宮澤賢治童話集

宮澤賢治著・日下 明イラスト・B5変判・各176頁

①②小塙裕二監修・各1,430円 ③鬼塚りつ子監修・1,320円

- ①雨ニモマケズ・風の又三郎など
- ②猫の事務所・銀河鉄道の夜など
- ③注文の多い料理店・セロひきのゴーシュなど

約100年読み継がれている宮澤賢治の名作6話と、詩「星めぐりの歌」を収録した童話集。小・中学生から大人まで、一生のうちに何度も繰り返し味わえる一冊。(世界文化社)



年始から始める写経

新年から心新たに、写経を始めてみませんか？「写経」は集中力を高め、正しい姿勢になるため自然と心も落ち着いてきます。

嘆仏偈〈書写用〉—真宗大谷派版

讃仏偈〈書写用〉—浄土真宗本願寺派版

法藏館編集部編・B5判・12頁・各385円

〈嘆仏偈〉ISBN:978-4-8318-9035-1

〈讃仏偈〉ISBN:978-4-8318-9036-8

お経を書いてみたい、でも何を書いていいのかわからぬ。初めての書写におすすめ！気軽に始められる、鉛筆でかける『嘆仏偈』・『讃仏偈』。読誦もできる宗派別ふりがな付。



書いて学ぶ親鸞のことば 和讃

真宗大谷派宗務所出版部編・B5判・72頁・660円(東本願寺出版)

親鸞聖人が人々に親しみやすくつくられた和讃を、現代語訳と語句の意味を確認しながら、書いて学ぶ一冊。和讃のまとまりごとにより細かく解説したコラム付き。



書いて学ぶ親鸞のことば 正信偈

真宗大谷派宗務所出版部編・B5判・72頁・660円(東本願寺出版)

「正信偈」の漢文と書き下し文をなぞり書きできる一冊。同朋会などのテキストとしても利用できる、ていねいな意訳・語注・コラム付き。



書いて作る勤行聖典～正信偈～

僧侶養成部企画・監修・1,100円(本願寺出版社)

お手本シートをもとに、ご自身の手で正信偈の御文を半紙に書写していただく聖典。表紙をつけて紐でつづることにより、自分だけの勤行聖典として活用可能。

◆◆◆法藏館書店売行ベスト10(11月期)◆◆◆

順位	書名	著者名	出版社名	定価(税込)
1	住職必携—真宗大谷派儀式作法	大谷制以知	法藏館	2,860円
2	人間はなぜ争うことをやめられないのか	一楽 真 講述	真宗佛光寺派	250円
3	親鸞聖人と報恩講	名古屋御坊 編集部編	真宗大谷派 名古屋別院	800円
4	南無阿弥陀仏のすくい	瓜生 崇	響流書房	110円
5	溶け合う世界へ—南無阿弥陀仏のすくい2	瓜生 崇	響流書房	110円
6	法然とその時代【法藏館文庫】	田村圓澄著 坪井剛解説	法藏館	1,320円
7	やさしい仏教の話【心に響く3分間法話】	桜井俊彦	法藏館	1,100円
8	【基礎から学ぶ浄土真宗①】 阿弥陀仏と浄土—親鸞が歩んだ道	内藤知康	法藏館	2,200円
9	内奥への旅—親鸞聖人の「二河白道」観	羽田信生	方丈堂出版	2,420円
10	親鸞聖人の一生	今井雅晴	自照社	2,200円

【メール配信サービスのご案内】

法藏館書店では、WEBサイトで本をご購入いただいた方やアンケートにお答えいただいた方に新刊情報などのメール配信サービスを行っております。

◎アドレス変更・配信停止について◎

<http://www.hozokan.co.jp>のページ下の「メールサービス」から、メールアドレスの登録と解除を行ってください。過去のメールもご覧になれます。

◆ご注文・お問い合わせは、メールの他に、電話・FAX・はがきでも承ります。
店頭在庫がない場合はお取り寄せとなります。ご了承ください。

◆荷送料はご購入額合計により
定価16,500円(税込)未満 送料——450円 代引手数料 330円
定価16,500円(税込)以上 送料、代引手数料ともに無料

◆価格表示は全て税込価格です。



法藏館書店

住所:〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入

電話:075-343-0458 FAX:075-371-0458

発行人:西村明高

E-mail:shop@hozokan.co.jp

<http://www.hozokan.co.jp>

(仏教の風)

検索



【営業日および営業時間】

月～土: 9:30～18:00

祝 日: 10:30～18:00

(休業日:毎週日曜日・お盆・年末年始)

法藏館ブログ「編集室の机から」を更新中!



facebook

つぶやき中~!

法藏館新刊案内

◆ひとりふたり・・—お正月を迎える

四衛 亮編・A5判・24頁・136円

※30部以上は1部110円、100冊以上はさらに送料無料

身近な話題から仏教・真宗の教えにふれる聞法誌。

定期購読をお申込みいただくと……

優先的にいち早くお届け!

買い忘れなく安心です!

詳しくは、法藏館書店まで。

【真宗／仏教】

ためし読み

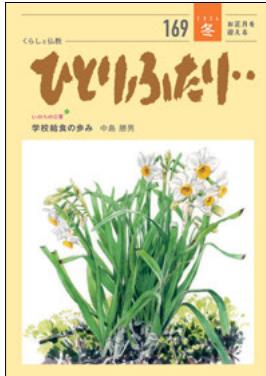


定期購読
受付中!



包みの表書きは
何と書けばいいの?

お年玉を贈るときや、お歳暮を送るときなど、お祝いの機会でよく「包みの表書き」と呼ばれる言葉が使われる。しかし、その書き方には迷うことが多い。「お歳暮」と「お年玉」どちらでいいのか、どうすれば丁寧かなど、よくわからないことが多い。そこで、この特集では、包みの表書きについて、専門家による解説とともに、実際にどのように書くべきかを紹介する。



【目次】 ●は新コーナー

- ◎いのちの言葉 学校給食の歩み 中島勝男
◎真宗で終活! 法名と終活—仏弟子として生きる— 小林尚樹
◎はてなの仏教用語 息災 木村宣彰
◎真宗のしきたりの不思議
包みの表書きは何と書けばいいの? 松本智量
◎おうちで精進料理(冬) 大根のごま味噌煮 西川玄房
◎カンタン英語で浄土真宗入門 英語で和讃に親しむ 大來尚順
◎お寺でヨガ
リハビリヨガ—健やかな身体を保つ技— Yai
●このお経ってどんな意味? 讀仏偈(嘆仏偈)① 三浦真証



◆宮沢賢治の仏教思想—信仰・理想・家族

【仏教／文学】

牧野 静著・四六判・250頁・3,300円・ISBN:978-4-8318-5581-7

一連の作品群から賢治の仏教思想とそのバックボーンを解明するとともに、近代の中で悩み続ける「人間・宮沢賢治」の本質を抉り出す。

■目次

- 序 章 研究の射程と方法
第一章 宮沢賢治の改宗と父・政次郎
第二章 宮沢トシの信仰—「我等と衆生と皆俱に」—
第三章 トシをめぐる追善
第四章 玄米四合の理想—森鷗外、そして母・イチー
第五章 宮沢賢治の菜食主義—田中智学との比較から—

ためし読み



ほか

